

令和7年度 第1回宇和島市地域公共交通活性化協議会

議 事 要 旨

日時 令和7年6月26日（木） 10時30分～11時30分

場所 きさいや広場 市民ギャラリー

出席 （委員） 西本委員、宮本委員、浅野委員、松浦委員、船田委員、酒井委員、山口委員（代理）、本田委員、大内委員、松本委員、高瀬委員、二宮委員、山本委員、長野委員、窪委員、近藤委員、松田委員、山本委員（順不同、敬称略）

（オブザーバー） 愛媛県南予地方局地域産業振興部地域政策課 末光課長

（事務局） 宇和島市企画課：井亀、末廣、小島、田村、大塚

吉田支所：浅井、井東 三間支所：赤松 津島支所：山田、清家

1 開会

2 規約・規程

（事務局） （資料1に基づき、協議会の規約・規程について説明。）
（質問なし。）

3 役員の選任

（事務局） 協議会規約第6条第2項に基づき、役員を委員の中より選任いただく。
まず初めに「会長」について選任いただく。委員の中で立候補又は推薦はないか。

（委員） 宇和島市副市長である西本委員が適任と思われるため、会長に推薦する。
（賛成の拍手多数により、会長に西本委員が就任）

（事務局） 次に、「副会長1名」及び「監事2名」を選任いただく。
立候補又は推薦はないか。

（委員） 特にないようなので、事務局で案があればお願いしたい。

（事務局） 副会長には、附属機関の協議会においても副会長を務めていただいた連合自治会宇和島支部の宮本委員にお願いできればと考えている。

監事には、行政的視点と第三者的視点のそれぞれの視点で、監査を実施していただきたいと考えているため、愛媛県南予地方局建設部の近藤委員とPTA連合会の酒井委員にお願いできればと考えている。

（賛成の拍手多数により、副会長に宮本委員、監事に酒井委員と近藤委員が

就任)

4 会長あいさつ

5 議事

(1) 協議事項

○議案第1号 令和8年 地域公共交通計画（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の認定申請について

（事務局） （資料2に基づき、議案第1号の内容について説明。）

（委員） 三間地区の実績と補助要件の差が大きいですが、その点についてどのように考えているか。

（事務局） 三間地区においては、小学校の通学に利用いただいているが、児童の減少により利用人数が伸び悩んでいる。定期利用をしていた方の施設入所等も利用者減少の要因となっている。

今後、地域の実情にあった路線の見直しをしていきたいと考えている。

※議案第1号は、賛成の拍手多数により承認。

○議案第2号 宇和島市地域公共交通計画に係る評価結果について

（事務局） （資料3に基づき、議案第2号の内容について説明。）

（委員） 今後、各地の小学校で統合が予定されており、乗り方教室、交通安全教室を積極的に実施していただければと思う。

来年度、三浦小学校が番城小学校に統合するため、三浦小学校の校長先生より教室を実施していただきたいとの話を伺っているため、ぜひお願いできればと思う。

（事務局） 統合後の通学方法としては、スクールバスの可能性もあることから、まずは、教育委員会へ今後の通学方法を確認しつつ、どこで実施することが適切か検討していく。

三浦小学校においては、昨年度より教室実施の要望を聴いているため、今年度実施に向けて進めていく予定。

※議案第2号は、賛成の拍手多数により承認。

○議案第3号 日振島地区地域モビリティ事業の運賃改定について

（事務局） （資料4に基づき、議案第3号の内容について説明。）

（委員） 同事業においては、戸島で島内・島外の利用者問わず一律100円としているが、日振島でも同じような料金に設定できないのか。

今年度、日振島小学校ではスクールバスの運転手がいなかったため、教育委員

会の職員が交代で運転手をしていた時期がある。今後、日振島小学校の運転手確保が困難になってくると思うため、本事業とスクールバスを連携することはできないのか。

(事務局) 島内・島外問わず一律 100 円とすることは可能だが、本格運行へ移行後は、地元の運行団体に燃料費を負担していただくため、シミュレーションを行ったところ、運賃収入に燃料費を捻出するだけの十分な余裕がないこと、運行団体からの意見もあったことから、島外の人の利用料金は 200 円とし、島内住民のみ 100 円としている。

通学利用については、教育委員会からも相談があり、運行団体へ投げかけてはみたが、運転手が午前中は仕事があるため運行が難しく、通学での利用にはならなかった。今後も相談があれば、運転手の状況を確認しながら対応は考えていきたい。

※議案第 3 号は、賛成の拍手多数により承認。

○議案第 4 号 令和 7 年度宇和島市地域公共交通活性化協議会の収支予算について

(事務局) (資料 5 に基づき、議案第 4 号の内容について説明。)

(質問なし。)

※議案第 4 号は、賛成の拍手多数により承認。

(2) 報告事項

○その他

(事務局) (資料に基づき、津島地区コミュニティバスの運行変更について説明。)

(質問なし。)

(委員) 以前より、吉田のスクールバスを地域の交通手段として利用できないかと話をしている。三間地区においても、今後小学校統合が予定されており、二名・成妙地区の子どもたちもスクールバスを使って通学するようになるのではないと思う。スクールバスは国の補助金を使って購入するため、一般の人を乗せたり、ほかの事業に使えないと聞いている。それであれば、補助金などを活用しない方法で購入すれば、有効に活用できると思うが、そのような検討はされているか。

(事務局) スクールバスについては、補助金を活用しているため、転用することについて問題があるとは認識している。スクールバスの利活用という話ではあったが、公共交通全般のリソースの最適化を図る必要があると思っている。市としても 3 月にキャノンビズアテンダ(株)及び(株)ウォンズと地域公共交通の D X を初めとする包括連携協定を結び、まずは市の地域公共交通に係る課題を可視化したうえで、課題に対してどうアプローチしていくか分析を進めようとしている。いまいただいたご意見も踏まえながら、解決策を検討していきたい。

と考えている。

(委員) 以前は、スクールバス運営の交付税措置があったが、いまはどうなっているか。

(事務局) まず、スクールバスの車両購入については、国からの補助がある。また、運営についても普通交付税と特別交付税の措置を受けていることもあり車両活用について制約がある。

全国的な傾向として、運転手の担い手不足の実態があるため、国へ声を上げていく必要があるとは考えている。

(委員) デマンド便について、現状は電話での事前予約制となっているが、アプリによる予約の導入など、使える人からでも、より便利な予約方法を考えていただけるとありがたい。

(事務局) 先程の包括連携協定の中においても、公共交通のDXが含まれている。分析を進めていく中で、地域の実情にあったものを検討し、アプリの導入も1つの案として事業を進めていきたいと考えている。

(委員) モーダルミックスについて、JR予土線の宇和島ー松丸間の乗車券を使って、同区間を運行する宇和島自動車(株)の路線バスを利用できる実証実験(R7.7.1～R8.2.28)を、昨年度に引き続きに実施する。

宇和島自動車(株)の運賃は、JR四国が負担。その負担分については、国から1/2、愛媛県から1/2の補助を受けることになっている。同事業について、今年度新たに、徳島県の牟岐線と海回りの予讃線でも実証実験を行う。

また、南予南部において、電動シェアモビリティ導入の実証実験(R7.8.1～R7.11.30)も行う。宇和島・近永・松丸の各駅などに電動キックボードのレンタルポートを設置し、鉄道からの二次交通を確保する。

高校生中心に多くの要望があった、予土線車内のWi-Fi導入の実証実験(R7.8.1～R7.11.30)も行う。

(委員) 電動キックボードのレンタル料は。

(委員) 時間制で、1時間あたり300円程度だったと思う。先日、きさいや広場で体験会を実施した。市内では、宇和島駅、シロシタ、きさいや広場で設置することを計画している。

(委員) 宇和島駅のみどり窓口やウィリーウィンキーとして使われていた場所を、高校生が使えるような空間にする予定などはないか。

(委員) ウィリーウィンキーの後は、原状復帰に改装の必要があるが、多額の費用が掛かる見込み。また、防火設備の新設も必要な状況。

みどりの窓口の前を勉強部屋できないかと、宇和島市と検討していたが、工事費の折り合いがつかず断念した。その他の利用方法として、いい案があれば教えていただければ検討する。

(委員) 全国的に要員不足が課題となっている。宇和島自動車(株)においても厳しい状況となっている。定年で退職した社員がスクールバスやコミュニティバス

の運転手に移っている現状もあり、要員確保については、市全体で考えていけないといけない課題だと思う。

宇和島自動車（株）において、運転士の養成制度を実施しているが、今後宇和島市においても、そういった要員確保に予算をつけていただきたい。

（委員） 要望いただいたので、検討していきたい。

（委員） 先日、宇和島一大阪線の値上げを発表した。値上げは、物価高騰と人件費の影響によるもの。来年の４月を目途に、ほかの一般乗合の路線バスについても運賃改定を予定しており、また時期がくればお知らせする。

6 閉会